

感染症・グローバルヘルス研修プログラム

1. 本プログラムについて

グローバルヘルスは世界中のすべての人々の健康を可能な限り達成し、健康状態の格差を縮小することに重きを置いた臨床や研究です。多様な総合診療専門医の活動のなかには、国際貢献や国際交流があり、その根底にある学問領域としてグローバルヘルスが認知されるようになってきました。また、COVID-19をはじめとした感染症は総合診療専門医が取り扱う健康問題において重要な地位を占めます。これらの領域での知識・技能を高め、より多様性のある総合診療医を育成するために、長崎大学病院総合診療科に「感染症・グローバルヘルス研修プログラム」を開設しました。

本プログラムでは、総合的な感染症診療能力の習得・向上に加え、熱帯医学・グローバルヘルスについて集中的な学習機会を提供します。6ヶ月間の短期コースでは長崎大学内に設置される熱帯医学ディプロマコース (DTM&H) の履修および長崎大学病院での臨床感染症研修を、専門医取得コースでは所定年数の研修を経て日本内科学会内科専門医・日本感染症学会感染症専門医の取得を目指します。研修医師のキャリア形成に合わせて柔軟に対応します。

2. 到達目標（修得すべき知識・技能）

2.1. 6ヵ月コース

- ① 長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科に設置される Professional Diploma in Tropical Medicine and Hygiene (DTM&H；3ヶ月間で熱帯医学衛生学ディプロマを取得) を履修し、資源の限られた地域で熱帯医学診療および公衆衛生を促進するための知識を獲得します。講義および実習はすべて英語で提供されます。
- ② DTM&H に続いて実施されるフィリピン熱帯医学コース (2週間) に参加できます。このコースは長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科とフィリピンのサン・ラザロ病院 (マニラ, 感染症専門) が連携して提供する熱帯医学の現地教育です。マニラ市内の同院およびレイテ島の僻地において、感染症病床でのベッドサイド教育、講義/ディスカッション、コミュニティでの公衆衛生フィールドワークなどを研修します。
- ③ 3ヶ月は長崎大学病院内で病棟診療、感染症コンサルトを通じて臨床感染症診療を経験し、臨床感染症の基本技能を習得します。

2.2. 専門医取得コース

- ① 日本内科学会内科専門医をダブルボードとして取得します。
- ② 日本感染症学会感染症専門医を取得します。

3. 研修施設概要

長崎大学病院総合診療科では、外来病棟診療に加えて感染症内科とともに院内感染症コンサルトを行っています。多くの診療科からの院内紹介に加えて、結核、HIV、ダニ媒介感染症（重症熱性血小板減少症候群、リケッチア感染症）などの多彩な疾患を経験できます。専門性の高い感染症教育を希望する場合は、長崎大学病院感染症医療人育成センターでの研修も可能です。

追加研修のオプション

- ・ Certificate in Tropical Medicine

前述の DTM&H コースの講義（録画）をオンラインのみで履修する6ヶ月間の熱帯医学研修コースです。DTM&H とは異なりインタラクティブなケースディスカッションやラボ実習は履修できませんが、空き時間を使って自分のペースで熱帯医学のオンライン学習が可能です。